

## ミクロネシア諸島自然体験交流事業（受入）

### ホストファミリー資料

主 催：独立行政法人国立青少年教育振興機構

吉備プログラム実施：独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立吉備青少年自然の家

#### ■ミクロネシア諸島自然体験交流事業（受入）について

##### （１）ミクロネシア諸島自然体験交流事業について

機構の子どもゆめ基金普及啓発事業として、２００２年から実施しています。

子どもゆめ基金は、国と民間が協力して子どもの体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金です。法人格を有する団体、任意団体など青少年教育に関する事業を行う民間の団体への助成金の交付の他、子どもの体験活動や読書活動の振興を図るための普及啓発を行っています。

##### （２）ミクロネシア諸島自然体験交流事業の目的について

「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」は、日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的としています。

##### （３）日程

吉備プログラム

２０２４年６月２７日（木）～７月１日（月）（５日間）

※全日程（日本滞在期間）

２０２４年６月２３日（日）～７月２日（火）（１０日間）

##### （４）参加者

マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦の２地域の子ども３６名及び引率者（「シャペロン」と呼ばれています。）６名、国際・企画課担当職員１名、添乗員１名、通訳１名、看護師１名  
総計４６名。

■ホームステイをお願いするにあたって

(1) ホームステイとは

ホームステイとは外国から日本を訪れた参加者を日本の家庭に招き数日間生活をともにすることです。参加者は家族の一員として一緒に時を過ごすことによって、普段の日本を知ることができます。

お客さま扱いや、特別な準備をする必要はありません。いつもと変わりなく、一緒に食事をしたり、おしゃべりをしたり、散歩をしたり、遊んだりしながら、家族ぐるみの交流を大事にすることが一番です。たとえ、言葉がうまく通じなくても、身振り手振りや単語でも伝えようとする努力が大切です。「訪れてよかった」、「来てもらってよかった」と、双方が思えるようなホームステイにしていきましょう。

(2) 人数

受け入れに当たっては1家族1～2名でお願いします。

(3) ホームステイ期間

2024年6月29日(土) ～ 6月30日(日) 1泊2日

(4) 迎え

2024年6月28日(金) 19:00

場所：国立吉備青少年自然の家

※6月28日(金)は国立吉備青少年自然の家で宿泊して、参加者と交流をします。

19:00に国立吉備青少年自然の家においでください。

(5) お見送り

2024年6月30日(日) 13:00

場所：国立吉備青少年自然の家(レストラン)

(6) ミクロネシア地域の慣習等について

別紙1参照

(7) 家族の紹介について

一同に揃わなくても、家族全員の紹介をしてください。

(8) 家の中の案内について

寝てもらう部屋、台所、風呂、トイレなど、それぞれの場所に連れて行って、一度どうやればよいのか、実際にやって見せてあげてください。特に、風呂は使用後に浴槽の栓を抜いてしまうことがありますのでご注意ください。

(9) スケジュールについて

ホームステイ期間中は、いつ何をするのかおおまかでも結構ですので、最初に教えてあげてください。紙におおまかな時間とどこへ出かけるか、行き先とどんなところかなどを書いてあげてください。参加者の希望を聞きながら相談して決めるとよいと思います。もちろん、過密スケジュールにならないように配慮していただき、自由時間もつくってあげてください。また、天候などによっては予定を変更することも柔軟に考えてください。

(10) 食事を楽しく

ホームステイでは、食事が家族と参加者を結びつける大きなイベントです。外食などよりは、手作りの普段の食事の方が、喜んでくれることでしょう。また、日本の習慣を知ることもなるでしょう。好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられない物など最初に確認してください。

(11) お願い

参加者へのお土産は基本的に必要ありません。もし、お土産を渡す場合は、思い出になるような写真や手作りの品などにしていただき、高価なものは避けてください。事業趣旨及び参加者間の均衡を図る観点からご配慮願います。

【経費の負担について】

参加者の受入及び飲食物の提供に対し、謝金として参加者1名につき5,000円お支払いさせていただきます。参加者の自宅(海外)への通話料や、参加者が買ったものの代金は参加者自身の負担であることを了解してもらい、支払ってもらってください。

参加者の要望は、無理して全部叶える必要はありません。

**【病気やケガ】**

ホームステイ期間中、病気やケガなど、何かあった時は、すぐに連絡を  
ください。

待機している随行者が全て対応します。

また、参加者は傷害、疾病、生命、賠償責任を対象とする損害補填を目的とする保険に加入しています。ホストファミリーの方が治療費を支払う必要はありません。

**【連絡先について】**

質問、緊急連絡などがある場合は、下記までお願いします。

ホームステイ期間中担当者は国立吉備青少年自然の家で勤務します。

**【担当】**

河本・藤本

**【昼間】**

国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職

電話： 0866-56-7232

FAX： 0866-56-7235

**【夜間 22：30分以降】**

国立吉備青少年自然の家 宿直室

電話 0866-56-7233

\*\*\*\*\*

**【お問い合わせ先】**

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立吉備青少年自然の家

主任企画指導専門職 河本 潤

企画指導専門職 藤本 昌克

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 4393-82

TEL: 0866-56-7232 FAX: 0866-56-7235

E-mail(企画指導専門職): [kibi-senmon@niye.go.jp](mailto:kibi-senmon@niye.go.jp)

URL: <https://kibi.niye.go.jp/> 8:45～17:30(土日祝も運営)

\*\*\*\*\*

## ミクロネシア地域の慣例や儀礼について

### 1 言語

- (1) 島ごとの言語はありますが、どの島も英語を公用語として教育しているため、コミュニケーションは英語で可能です。
- (2) 島によっては、日本の単語がかなり残っています。  
(デンシンバシラ、ヤキュウ、ベントウ、フトン、ショウユ、ミソ、チリガミ等)

### 2 宗教

- (1) ミクロネシア地域は主にキリスト教です。日曜日には、家族で教会に行くことが多いようですが、来日時はあまり気にしなくても良いそうです。

### 3 生活

- (1) 島ではゆったりとしたリズムで生活をしています。日本人のように時間を区切って行動することは苦手です。
- (2) 全体的に早起きです。
- (3) 生活様式は、アメリカの影響が強いようです。

### 4 入浴

- (1) 人前で裸になることは基本的にしません。また、大勢でお風呂に入る習慣ありませんが、施設宿泊時(特に男子)は指導により大浴場に入れることもあります。
- (2) 朝、シャワーを浴びる習慣があります。
- (3) 浴槽の中で石鹸を使ったり、浴槽の栓を抜いてしまったりすることがありますので、あらかじめご注意ください。

## 5 性格・趣向

- (1) 恥ずかしがり屋ですが、明るくおおらかです。
- (2) 日頃はゆったりした生活をしていますが、一方でとても活動的です。スポーツ（バスケットボール、バレーボール、島によっては野球）は好きです。
- (3) 音楽はアメリカの曲が好きです。日本人があまり歌わなくなった日本の古い童謡を知っていることがあります。

## 6 食事

- (1) ご飯が好きです。島では、白米にツナ缶をかけて食べることもあるようです。
- (2) お肉は鶏肉、豚肉、牛肉どれも食べます。フライドチキンや牛肉・豚肉の炒め物が好まれます。しょうゆは現地でも売っているので、しょうゆの味付けは違和感がないようです。
- (3) マグロの刺身は好きです。現地ではしょうゆにライムを絞って食べます。
- (4) 生野菜はあまり食べません。
- (5) ラーメンが好きです。ただし、島ではインスタントラーメンしかありませんので、お店で出されるようなラーメンは食べたことはありません。
- (6) アイスクリームやコカコーラが大好きです。やきそばは塩味よりもソース味などの濃い味付けが好みようです。

※上記はあくまで参考情報であり、来日する子供によって違いがある点は御理解ください。